

与謝野町立小学校（加悦地域）再編計画

説明会における 意見・質疑内容

平成29年10月23日～平成30年3月14日開催分

保護者説明会

加悦小学校PTA	P1 ～
与謝小学校PTA	P3 ～
桑飼小学校PTA	P6 ～

地域説明会

加悦小校区	P7 ～
与謝小校区	P8 ～
桑飼小校区	P15 ～

与謝野町立小学校（加悦地域）再編計画説明会

◆第1回説明会

開催日 平成29年10月23日
場 所 加悦小学校
対 象 P T A

◆第2回説明会

開催日 平成29年10月24日
場 所 与謝小学校
対 象 P T A

◆第3回説明会

開催日 平成29年10月30日
場 所 桑飼小学校
対 象 P T A

◆第4回説明会

開催日 平成29年12月1日
場 所 加悦小学校
対 象 P T A

◆第5回説明会

開催日 平成29年12月6日
場 所 桑飼小学校
対 象 P T A

◆第6回説明会

開催日 平成29年12月12日
場 所 与謝小学校
対 象 P T A

◆第7回説明会

開催日 平成30年1月18日
場 所 与謝小学校
対 象 P T A

◆第8回説明会

開催日 平成30年2月7日
場 所 明石地区公民館
対 象 一般参加者

◆第9回説明会

開催日 平成30年2月13日
場 所 与謝小学校
対 象 一般参加者

◆第10回説明会

開催日 平成30年2月20日
場 所 加悦地域公民館
対 象 一般参加者

◆第11回説明会

開催日 平成30年3月14日
場 所 与謝小学校
対 象 一般参加者

小学校再編計画（加悦地域）小学校PTA説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 QA 質疑
加悦小学校	H29. 10. 23	PTA 4 役	4	<p>◎ 小学校の統合について</p> <p>◆ 子どもたちの教育環境を最優先とし、再編を進めてほしい。</p> <p>◆ 与謝小、桑飼小の児童数では教育環境としては、良くないと思う。</p> <p>◆ 子ども子育て会議の委員として、再編についての議論に参加した。子ども達に、ある程度の集団人数を確保することは必要であると思うので、出来る限り早く再編したほうが良いと思う。ただし、少人数の時は、保護者が顔見知りばかりで、保護者同士のコミュニケーションが取れていたが、保護者の数も多くなるので、保護者同士も今までのようなコミュニケーションが取れるのかが不安。</p> <p>◆ 早く統合して、エアコンの整備やプール修繕を行ってほしい。</p> <p>◆ 加悦小は受け入れる側であるので、与謝小、桑飼小の保護者の意見を聞いて進めてほしい。</p> <p>Q 加悦小の保護者は、受け入れを行う側だが、与謝、桑飼小の保護者の意見は。 A PTA役員に説明を行ったのみであるが、特に反対意見はない。集団が少人数化しているので、子ども達の環境を第一に考え、出来るだけ早く統合してほしいという意見があった。</p> <p>Q 学校準備協議会はいつごろ立ち上げる予定か。 A 再編の同意を得られ次第、出来る限り早く立ち上げたい。PTAの合意については、できれば年内にお願いしたい。その後、各地域の説明に入りたい。学校準備協議会の協議期間は、京丹後市の例で1年6か月程度必要。</p> <p>Q 合意が取れない場合は、統合は先送りとなるのか。 A 理解が得られるように、丁寧に説明していく。</p> <p>Q 統合まで2年しかないが、合意形成を含め、間に合うのか。 A 地域に丁寧な説明を進めて、平成32年度の統合を目指す。</p> <p>Q 跡地活用で廃校と休校があるが、岩屋小が休校であるのは地域からの要望か。また管理は地域が行うこととなっているのか。 A 地域からの要望で、休校としている。学校の管理は教育委員会が行っているが、体育館やグラウンドなどの施設は社会体育に開放しており、利用調整等は区にお世話になっている。</p> <p>Q 岩屋小のように休校であれば、電気や水道などが止まらず、施設もきれいに保存してもらえるが、廃校の場合は、体育館やグラウンドは使用できなくなるのか。 A 休校の場合も廃校の場合も管理は同じ。休校は、学校をいつでも再運営できる状態にしておくことであるが、学校以外の他の用途では使うことが出来ない。</p> <p>Q 再編による児童の友達関係の負担はどうか。 A 再編前に学校間の交流事業を計画する。</p> <p>◎ スクールバス・通学路の整備について</p> <p>◆ 与謝小校区は、通学距離が長いので、スクールバスが必須である。</p> <p>◆ 桑飼小校区の児童はバイパスを横断する必要があるため、徒歩通学は危険。</p> <p>Q スクールバス運行の基準は。加悦奥の自転車通学も要検討。 A 距離で4km、通学時間1時間が基準 加悦奥の自転車通学についても検討が必要。</p>
	H29. 12. 1	PTA 全体	10	

小学校再編計画（加悦地域）小学校PTA説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 QA 質疑
加悦小学校				<p>◎ 学校名、校歌等の再検討について</p> <p>◆ 加悦小という名称に愛着がある。ジュニアスポーツが統合する場合でも、名称にこだわりがあった。</p> <p>Q 学校名と校歌は、再編後に新たに決定することであるが、加悦中学校との関係性もあり、そのまま「加悦小学校」で良いのではないか。また仮に校名を変更するのであれば、せめて校歌は、歴史のある加悦小の校歌としてほしい。</p> <p>A 3小学校の対等統合としたい。すべて、保護者や地域の方の合意形成のもとに進めていきたい。学校名等は、学校準備協議会において決定していただきたい。</p> <p>◎ 今後のスケジュールについて</p> <p>◆ 各小学校PTAの意見を聞きたいので、3小学校の3役合同の意見交換会を開催してはどうか。</p> <p>◎ その他</p> <p>Q 現在学校毎に、児童が自転車で活動できる範囲が異なる。再編に向けて統一するべきでは。</p> <p>A 校長会で検討します。</p>

小学校再編計画（加悦地域）小学校PTA説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑
与謝小学校	H29. 10. 24	PTA 3 役	3	<p style="text-align: right;">◆ 意見 QA 質疑</p> <p>◎ 小学校の統合について</p> <p>◆ 少子化が進んでおり、再編は仕方がないことだと考えている。</p> <p>◆ 再編には良いことも、悪いこともあると思うので、しっかり説明がいただきたい。</p> <p>◆ 子どもたちの教育環境を最優先とし、再編を進めてほしい。</p> <p>◆ 再編を進めるに当たっては、保護者の思いを十分に聞いて進めていただきたい。 また、保護者と協議する機会を設けていただきたい。 児童に対する支援やケアを出来るだけ手厚くしていただきたい。 地域住民としては、地域の学校がなくなるのは寂しい。 学校の跡地利用を積極的に検討していただきたい。</p> <p>Q 児童数が増えることのデメリットはあるか。</p> <p>A 一人一人に目が届きにくくなるというデメリット等が考えられるが、統合によるメリットの方が重要である。 小学校時代に多くの友達と出会い、固定的な人間関係にならないことが重要。 1 学級の人数の基準は、国は 40 人のところ、京都府は 35 人で 1 学級としている。36 人以上であれば、2 学級となる。1 学級の人数が多くなり目が届かなくなる様であれば、統合加配や町独自で支援員を配置するなどの対応を検討する。</p> <p>Q 出来れば早く統合してほしい。少人数の集団から大人数の集団に移行する際が心配。統合後の子どもたちの心のケアを行えるように、例えば「ことばの教室の先生」のような先生の配置をお願いしたい。</p> <p>A 教職員の人事は京都府が行うので特別な配置はできないが、町として支援員等の配置を検討することができる。 また、教育相談員として臨床心理士等の配置をしているので、心のケアを行える体制もある。 なお、学校間の交流事業を進め、統合後の児童の負担も軽減したい。例として与謝小学校と桑飼小学校が合同で修学旅行を行っている。</p> <p>Q 平成 33 年度に再編から平成 32 年度の再編を目指すと変更され、「目指す」という表現があるが、平成 32 年の再編は決定事項なのか。</p> <p>A より良い教育環境を出来るだけ早い時期に整えるために平成 32 年度の再編を目指しているのご理解いただきたい。</p> <p>◎ スクールバス・通学路の整備について</p> <p>◆ スクールバスを充実してほしい。</p> <p>◆ 準備委員会で検討するとのことであるが、保護者の意見を取り入れてほしい。</p> <p>◆ 集合時間に遅れても、保護者が送っていかなければならないのは負担。</p> <p>◆ スクールバス運行の基準通りでは、金屋区の児童は徒歩通学であるが、状況に応じて検討いただきたい。</p> <p>Q スクールバスの基準は。今でも寒い中 2 km を徒歩で通学しているが、疲れて宿題が出来ない。</p> <p>A 小学校の場合は、4 km、1 時間以上の通学が目安となっている。</p>
	H29. 12. 12	PTA 本部役員	9	
	H30. 1. 18	PTA 全体	15	

小学校再編計画（加悦地域）小学校PTA説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 QA 質疑
与謝小学校				<p>Q スクールバスの基準は4kmとのことであるが、どのあたりまで対象か。</p> <p>A 加悦小学校から与謝小学校までが約4kmであるが、スクールバスは、基準にこだわることなく、安全の確保、防犯、体力、ストレス等を考慮して運行したい。詳細は、準備検討委員会で検討していただく。スクールバスの運行については、桑飼小学校区、加悦奥の地域事情等も含め、準備委員会で検討する必要がある。</p> <p>Q 滝区、与謝区は加悦小学校から比べると標高が高く、中学生でも自転車通学は厳しい。小学校1年生でもバス以外で通わせるのか。</p> <p>A 基準の4kmにこだわらず、必要に応じてスクールバスの運行を検討したい。</p> <p>Q スクールバス等通学方法が再編後に分かり、しかも条件が悪いのでは困る。</p> <p>A そのようにならないように、準備協議会で決定していただく。協議会委員として保護者や地域の方に参画していただく。</p> <p>Q 通学が一番気になる。準備協議会の前に青写真が示してほしい。準備協議会になれば統合が決定している。</p> <p>A 子どもたちへより良い教育環境を整えることを目的に再編を進めている。スクールバス等については、準備協議会で地域の要望を基に決定することとしている。説明会でいただいた意見を基に、スクールバスの運行等素案を作成する。</p> <p>Q 自転車道の安全確保（防犯灯の整備、除雪）が出来ていない。（通学路）防犯灯の整備を進めるなどの青写真を示して再編を進めるべきである。</p> <p>A 通学路等での具体的な心配があると思うが、詳細については、準備協議会で検討していただくこととしている。説明会を通して意見等をお聞きしたい。</p> <p>◎ 学校名、校歌等の再検討について</p> <p>◆ 与謝小学校の名称がなくなるのは寂しい。</p> <p>◎ 小学校の跡地利用について</p> <p>Q 与謝小学校の跡地利用を検討しているのか。桑飼小学校は具体的な計画があるが。</p> <p>A 与謝小学校の跡地利用については、具体的に決まっていない。与謝小学校に限らず、町の公共施設全般的に跡地活用が課題となっている。活用方法について、地域から要望があれば聞かせてほしい。</p> <p>◎ その他</p> <p>Q 中学校の統合も検討しているのか。</p> <p>A 中学校は現在のところ検討していない。</p> <p>Q 再編後の学童保育はどうなるのか。</p> <p>A 学童保育の運営方法も準備協議会で協議していただきたい。再編後の校舎近くの施設を利用していただくか、地域に帰ってから、地域の施設を利用していただくか等について、協議会で検討していただくこととなる。</p>

小学校再編計画（加悦地域）小学校PTA説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 QA 質疑
与謝小学校				<p>Q 児童数が減少するから統合するとのことであるが、人口を増やす施策を進めるべきではないか。京丹後市大宮町は児童数が増加している。与謝地域も中山間事業や農地の保護のため農地転用が出来ず、工業団地や住宅用地が作れないので人口が減少している。与謝野町は、京丹後市大宮町を目指すべきではないか。</p> <p>A 貴重な意見として理事者に伝える。</p> <hr/> <p>Q 様々な意見に対して回答してもらえよう、説明会に役場の各課長に出席してもらえないか。また、町長等に説明会での意見が伝わっているのか疑問である。</p> <p>A 小学校の再編計画、こども園の整備計画の説明会であり、全課長が出席することは出来ない。町政全般の質疑は、町政懇談会に参加していただきたい。なお、2月7日から実施する小学校再編計画等の地域説明会においては、副町長が出席する。説明会での意見は町長等に報告している。</p>

小学校再編計画（加悦地域）小学校PTA説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 QA 質疑
桑飼小学校	H29. 10. 30	PTA 3 役	3	<p>◎ 小学校の統合について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもの数が少ない。クラス替えが出来る環境を整えてほしい。 ◆ 保護者の反対意見は少ないと思う。PTAのOBの方、地域住民の方からの反対が多いのではないか。 ◆ 再編することによりエアコンの整備が進むのであればありがたい。 <p>Q 現在の少人数の集団から大人数の集団に移行する事や、他の学校へ通うこととなり、先生方がほとんど変わられることが不安。先生方の配置について、配慮をお願いしたい。</p> <p>A 岩屋小と市場小、養老中と橋立中の統合の際も、教員を統合校に配置している。出来る限り配慮を行う。なお、統合する場合には、学校に1名統合加配を2年間配置することが可能である。また、統合前に、3小学校の交流事業を積極的に行い、児童相互の交流を図りたい。</p> <p>◎ スクールバス・通学路の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ スクールバスの運行は必要である。 ◆ スクールバスを利用できる児童も保護者の意見を聞いて決定してほしい。 ◆ 4km、1時間以上の基準ではなく、地域単位で指定してほしい。 ◆ バイパスを横断する児童、低年齢児童についても検討してほしい。 <p>Q スクールバスや通学路は準備協議会で決定することであるが、具体的には。</p> <p>A すべて準備協議会で決定していただく。地域や保護者の方に協議会に参画していただき、協議会の意見をもとに決定していくこととしている。国の基準でスクールバスの利用は、片道4km以上と定められているが、バイパスの横断等の危険な箇所もあり、児童の安全を最優先に考え、スクールバスの運用を検討したい。低学年、高学年で終業時間が異なるため、下校時のスクールバスの運行についても課題となる。</p> <p>◎ その他</p> <p>Q 再編後の学童保育はどうなるのか。</p> <p>A 学童保育の運営方法も準備協議会で協議していただきたい。</p> <p>Q こども園の整備も含め、大きな事業であるが、計画期間が短いのでは。</p> <p>A 時間的な余裕はないが、保護者、地域の理解を得ながら進めて行きたい。</p> <p>Q 中学校の再編計画はあるか。</p> <p>A 具体的な計画は無い。</p>
	H29. 12. 6	PTA 全体	9	

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 Q A 質疑
加悦小学校区	H30.2.20	一般参加者	12	<p>◎ 小学校の統合について</p> <p>Q 小学校の統合が決まり協議会になった時に、要望として32年度から統合した時点の子の親を協議会に入れ、2年間を統一して流れが分かる委員を作ってほしい。流れを説明できる人を委員に選任してほしい。</p> <p>A 協議会はまだ詳細が決まっていないが、30年6月には立ち上げたい。委員については、地域やPTAの方に入っていただくことになるが、2年任期などを検討する。子ども・子育て会議の任期も2年となっており、再編の流れが分かるように委員を選任する。</p> <hr/> <p>Q 次の世代のためにも議論の経過と過程をしっかりと記録していただきたい。今後の進め方で地域の合意形成を得ながら進めるとあるが、どんな方法で合意形成をされるのか。</p> <p>A 統合説明は、PTAや保育園保護者にまず説明をさせていただき、現在地域に説明させていただいている。今のところPTA、保護者等から反対の意見はない。地域説明の中では、課題や回答を求められている点があるが、再度説明会を開催しご理解いただけるように考えている。合意形成については、区長にもお世話になり、地域説明会の意見を報告し、反対の意見がなければ町として再編を進めていきたい。</p> <hr/> <p>Q 議会だよりで区長に合意形成を諮ると書いてあるが。</p> <p>A 地域説明会において、大きな反対意見がなければ、区長に説明させていただき、再編について進めていきたい。</p> <hr/> <p>Q 何のための準備会か。</p> <p>A 準備会は地域である程度の理解を取った中で統合を正式に進めていく。色々な決め事、学校名や校歌やPTAの形、通学路を決めるに当たり協議会を作り、統合に向けての細かなところを協議していく場とする。</p> <hr/> <p>Q 協議会を設置して合意形成を計っていくのが正しいのでは。</p> <p>A 準備委員会は統合が決まったら具体的に統合した学校が発足するための準備をしていく。統合の先進の宮津市、京丹後市も準備委員会で色々なことを決定し新たなスタートを切られている。準備委員会が発足したというのは統合が決まったということで発足する。</p> <hr/> <p>Q 準備委員会は各学校別に設置されるのか。</p> <p>A 学校別ではなく1つの協議会として、加悦地域全体の中で統合する学校が設立するまでの準備会である。</p> <hr/> <p>Q この説明会に加悦地域の人が少ない、統合に対して関心が少ないと思われる。与謝や桑飼は特に不安に思っておられると思う。情報共有が必要。ある程度責任を持って継承し進めていくには、委員の決め方を考えてもらいたい。スクールバスが滝・金屋が3km以内でどうやこうやが難しいとあって、どうなったか加悦地域も知っておくべき。</p> <p>A 学校区ごとでの説明会の意見は何らかの形で情報提供をしていく必要がある。委員についても継承が何らかの形でできるようにしていきたい。</p> <hr/> <p>Q 与謝・桑飼で、不安な事や要望が出ているか。</p> <p>A 桑飼では学校再編については意見が少なかったが、敷地内の忠魂碑があり認定こども園になっても管理ができる体制を整えてほしいとあった。与謝では、場所が加悦小となることから、スクールバスを出してほしい、跡地利用をどうするのかといった意見が出ていた。</p> <hr/> <p>Q 加悦保育園跡地は何か予定があるか。</p> <p>A 学童保育が現在加悦小学校の校舎内で2教室使用している。再編後は学童の人数も増えるので、その施設の候補地として計画している段階。</p> <hr/> <p>Q 中学校の統合はあるか。</p> <p>A 現在統合の計画はない。将来的にはあるかもしれない。</p>

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 Q A 質疑
与謝小学校区	H30. 2. 13	一般参加者	26	<p>◎ 小学校の統合について</p> <p>Q 小学校の通学路について、資料では概ね4 km以内という基準が徒歩圏内とされているが、加悦小学校を起点にすると4 kmはどこまでになるか。また、通学路のルートはどこを通るか。決まっていれば教えてほしい。</p> <p>A 記載している4 kmは国の基準である。概ね与謝小学校下の信号で3. 4 km程度である。スクールバスの運行は、距離だけでなく、地域の事情や交通量が多い等を考慮し、どこから徒歩、どこからバスになるかについては、協議会のような組織を作り、PTAの皆さんや地域の方々意見聞き、距離にこだわらず決めていきたい。ルートについても同じ。</p> <p>Q 基本となるのは今ある通学ルートか。</p> <p>A 基本は現在の通学路になる。それについてもPTAの方々に意見を聞き、検討する。色々な意見をいただく中で子どもたちの精神的・体力的な負担にならないように配慮し、検討していく。</p> <p>Q 通学の問題でバスを出すか出さないか検討する話だが、中学生は自転車で行っているのに小学生は歩いて行くかもしれないというのはおかしい。最低でも通学バスを出し、地元の同意を得るのが基本ではないか。学校は地域にとって重要な地域振興の核施設。家を建てるにしても学校の近くでと考える人も多いと思う。合併する時から与謝地域は過疎が進むのではと、皆さん心配されたと思う。自治体の借金には辺地債や過疎債があり、国からお金を補填してくれるものがある。自治体の仕事として過疎や辺地を振興していく仕事、責任がある。それに対して合併以降町としてどういう施策やどういう努力をされたのか。加悦には学校、桑飼には老人ホームと認定こども園ができる。どうやってこれから与謝地域を盛り立てて振興していくのか。</p> <p>A スクールバスについては、財政のこともあるが、与謝小学校校区は、通学距離が増えるので、子どもたちに負担がないように整備する必要があると強く認識している。学校は、地域の核となる施設であるが、子どもの教育環境を整えていくことを第一に考えている。過疎辺地の地域振興については、現在過疎地域はない。辺地は奥滝、山河、峠、平林の一部。人口減で地域の活性化につながらない。国の優位な借金を利活用することで活性化する場合があるが、人口減・高齢化もあり思うように進まない。学校には国からの補助はない。交付税として小学校1校当たりとして算入されている。運営には多額の資金を要するので借金に頼ることになるが、学校を建てるときは辺地債は該当にならない。現実として子どもが減ってきて、子どもたちの学校教育のことを考え、財政状況を考えると、将来を考えるタイミングとなるため今回の説明会となった。跡地利用について対象になった学校の校舎やグラウンドを有利に活用できることを決めてから動くのでは進まない。加悦は小学校、こども園として立地を考えると桑飼になった。与謝小学校を空いたままにするのかというのはいつまでもということにはならない。行政・地域・外部の人の知恵も借り、活用していかなければならない。</p> <p>Q スクールバスは財政は関係なく、子どもの安全を第一に整備してほしい。</p> <p>A 確約できない。野田川地域も岩屋から市場へスクールバスではなく2. 数km歩いているので、バランスを考えて整備したい。子どもの安全確保は配慮したい。</p> <p>Q 学校の果たしている地域振興の役割は。今後どう振興していくのか計画がない。次の説明会に答えを持ってきてほしい。</p> <p>A どちらが先かと言うのではなく、子どもに良い教育環境で勉強・授業できることを優先している。計画ができていない方が良いが、まずは再編を進めさせていただきたい。中学校の自転車通学は与謝校区すべてが自転車通学だと思われる。そういったことは協議会で検討していくこと。加悦奥の子は小学校でも自転車通学している。そういったことを整理していかなければならない。通学路は交通安全と防犯を考えて指定していく。今後協議し整備が必要。</p>

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑	
				◆ 意見 Q A 質疑	
与謝小学校区	H30. 2. 13	一般参加者	26	<p>Q 他の自治体で、5つの小学校が1つになり、マイクロバスが12台程ある。京都府内でもいろいろな事例があると思うので、研究していただきたい。協議会の委員も大変だと思うので、しっかり地域の声を拾って帰ってほしい。慎重に、子どもに対する手立ちは分かるので、親と地域のことも考えて慎重に通学の関係は力を入れてしてほしい。</p> <p>A 防犯面や体力、子が安心安全に通学できることを第一として、地域等の意見を吸い上げ、教育委員会としては児童にとってより良い形で進めていき、保護者も納得する形で検討していきたい。</p> <hr/> <p>Q スクールバスについて意見が出ているが、4km以上がバスに乗れて、4km未満が乗れないというのは弊害が出る。与謝小学校の生徒が加悦小学校に統合されるのであれば、必ず与謝小学校の生徒はスクールバスに全員乗ることとしてほしい。クラブ活動も人数が多い中で揉まれるというのも大事なことである。合併が進むと思うが、与謝だけが何も無い。地域が過疎化につながらないように検討してほしい。小学校の跡地利用は農林業の拠点として検討してほしい。与謝地域の農業事業所は、若い人もいる。Xキャンプ、合宿所として等使ってほしい。若い人がいれば活気が出る。</p> <p>A 与謝校区は農業の盛んな地域のため、その選択肢はあるが、相手もあること。Xキャンプを活用するのは可能。</p> <hr/> <p>Q 他の自治体で体育館を使い野菜の水耕栽培して地域の人がやられている話がある。プロジェクトチームを早くに立ち上げてほしい。</p> <p>A 跡地については地域の活性化につながるよう考えていかなければならない。例えば避難所等。意見を聞きながら考えていく。通学路については交通安全とともに防犯も考えていく。加悦小学校地域や野田川地域でも距離だけでなく配備を前向きに考えていかななくてはならない。</p> <hr/> <p>Q 桑飼はこども園ができ交通量が多くなるが、にぎやかになる。加悦もにぎやかになる。与謝小学校の跡地のことだけでなく、PTAにしても与謝から加悦に行くにはガソリンを使い参加する。地域貧乏である。廃れていかにないように農業・事業関係を与謝にも何か、今後の課題として農業など案があれば振興策をお願いしたい。</p> <p>A 与謝小学校校区は農業施策を進めているところでもあり、国の支援を活用しやすいところであるので、有効に活用できるものは何であるか考えていかななくてはならない。与謝小学校区が今後衰退しないような手立てがあれば行政として手を打って行かなくてはならない。跡地利用も含め地域の活性化は行政としての課題。</p> <hr/> <p>Q 4月に選挙があるが、町長が変わる場合、再編時期が変わることもあるか。</p> <p>A 基本的には町の考え方として、子どもが少なくなることを見据えて統合しようと進めている。選挙で首長の考えもあると思うが、教育環境の適正規模適正配置を思うとこれがベストという考え。子ども・子育て会議で諮問・答申を受けた計画を進めていく。</p> <hr/> <p>Q 本日の説明会で与謝小学校校区の同意が得られたと取るのか。もう一度説明会が予定されるのか。</p> <p>A もう一度という声があれば開催する。桑飼小学校校区については統合を進めてほしいということ。スクールバスのことは十分意見を聞きながら進めていく。加悦小学校校区は説明会が未開催であるが、特に今の段階では反対とは取っていない。</p> <hr/> <p>Q 与謝地域が一番問題点を抱えながら統廃合になるので、もう一度こういった説明会を持ち、十分地域の声を聴いていただき納得があった上で再編していただきたい。地域振興の課題についても、次回回答を出していただきたい。</p> <p>A 今回と同様に日程調整・説明会の形で良いか。検討した事項は伝えられるが、具体的な提案までは出せない。</p> <hr/> <p>Q 加悦と桑飼と与謝と回られているが、説明会の参加者が少ない。意見が聞けていない。意見を聞くのがどの辺までが最終なのか。協議会の人が決めていかななくてはならないのは大変。参加人数が少ないのが気になる。</p> <p>A 小学校区単位になると思うがもう一度説明会を開くことはやぶさかではない。区長と調整させていただき、日程を決めたいと思う。</p>	

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑	
				◆ 意見 Q A 質疑	
与謝小学校区	H30. 2. 13	一般参加者	26	<p>Q すでに桑飼小学校校区の説明会は終わり、参考になることはあるか。桑飼ではどのような話が出ていたか。</p> <p>A 認定こども園が整備されるということで、忠魂碑の管理、道路整備についての意見が多く出ており、学校の再編については反対意見は出ていない。</p> <p>◆ 再編については、大体は理解しているが、地域の意見も大切だが保護者にとってベターな方針が出せるかであると思うので、保護者会と十分ディスカッションして良い方法を見つけてもらいたい。</p> <p>Q 岩屋小学校が2. 5kmの子は歩いて行って、それより奥の子はスクールバスを利用しているのか。</p> <p>A 一番遠い子どもで3. 8kmである。スクールバスではなく、徒歩通学。</p> <p>Q どれくらいかけて行っているのか。</p> <p>A 45分くらい。7時15分頃に集合し45分かけて歩いていると聞く。当初よりは時間が短くなっている様子。</p> <p>Q 防犯面も考慮しての徒歩なのか。</p> <p>A 集団下校で岩屋の子は帰っている。1年生から6年生まで一緒、曜日によっては高学年のみ遅い時もある。</p> <p>◆ 与謝小学校でも集団下校だが、習い事があつたりすると1人になってしまい、迎えに行くことが頻繁にある。この場でスクールバスが出ると回答していただき良かった。これから協議されるということなので、一意見としてお伝えする。</p> <p>Q スクールバスの青写真の提示、バスだところ、通学ルート、電気、防犯面のこと、防犯カメラのお願いもしたところ、防犯カメラのない町を目指すとのことだったが、事件発生時や不審者が出た場合に必要などと思う。明かりを与謝に付けていただくのが大切。農業政策も受け止めなければならないと思うが、金屋、滝、与謝は住む町なのか。インフラの部分も考えていただきたい。</p> <p>A 協議会の意見を聞きながらと回答していたが、今回も通学路・バスの意見を多くいただいたので、教育委員会で素案を計画させていただき、進めていきたい。街灯、防犯カメラに関しては、町長部局と協議し安全面の確保はしたい。</p>	

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 Q A 質疑
与謝小学校区 2回目	H30. 3. 14	一般参加者	25	<p>◎ 小学校の統合について</p> <p>Q 通学路の整備及び防犯について具体的な改善策を提示してほしい。</p> <p>A 通学路の整備及び安全対策については、通学路安全推進会議（警察、土木事務所、建設課、防災安全課及び教育委員会）において、学校からの要望に応じて協議を行い、通学路の整備を進める。また防犯面については、PTAや地域の方々からのご協力をいただきたく思うが、教育委員会においても、スクールガードリーダー（警察OB）2名の方に登下校の見守り・指導をしていただいている。統合した際には当面重点的に見守りをしていただくなどの工夫をしていきたい。なお、防犯灯の設置については、区から町に要望していただき、設置を検討する。</p> <p>Q 与謝小学校区に対する通学方法通学支援を具体的に示さなければ合意形成は得れないと思う。</p> <p>A 支援策については、加悦小学校までの通学になると今まで以上に通学距離が長くなるので、スクールバスを導入することを考え、どこまでが徒歩で、どこからがバス通学にするかは、保護者の方や準備協議会でのご意見を聞かせていく中で、一定の基準を設定していく必要がある。後野地区境の金屋地区の児童は、与謝小学校に通学するより加悦小学校に通学した場合の方が距離が短いケースもあり、また若干今までより距離が長くなったとしても、徒歩で通学できる距離であるならば徒歩通学をさせたいというご意見もあるかもしれないので、ご意見を聞かせていただく中で、今より負担・不利益が増えないように配慮していきたい。また、通学路によっては、交通量が多いとか、逆に少なく防犯面で心配という地域的要素もあると思うので、ただ単に距離だけで判断していくのではなく、関係者等からのご意見をいただき、基準を設定していただく予定である。</p> <p>Q 市場小学校での通学に問題はないのか。今後統合される町内各小学校での考え方の整合性。府内・府外での先進事例を調査報告して、保護者・地域住民を納得させてほしい。</p> <p>A 登下校時の移動距離が増え、その移動が交通量の多い狭い道を通っていることから、登下校時の安全が確保しにくい状況になっている。当初は、低学年と中高学年では、授業時間が違う日は、低学年は1時間ぐらい図書室で読書するとか、グラウンドで遊んだりして、待ってもらってから中高学年と一緒に一斉下校していたが、昨年9月ごろからは低学年だけで下校している。</p> <p>・京丹後市：小学校3km、中学校6km 実距離が基準未満であっても通学路の状況を考慮して対象とすることもある。</p> <p>・宮津市：基本的には、小学校4km、中学校6km</p> <p>Q 第2回説明会は保育園保護者・育友会員・地域住民すべてに再度になりますが呼びかけてほしい。</p> <p>A 地域には各戸配付により、学校・保育園では、保護者あてに学校・保育所を通じてチラシを配付させていただいている。また、学校だよりも記載をしていただいている。</p> <p>Q 学校づくり準備協議会の構成人員を教えてほしい。</p> <p>A 案の段階であり今後、関係機関・団体とも調整は必要となるが、各地域からの代表、3小学校のPTA、3小学校の教職員等からそれぞれ2～3名を考えている。また協議会の中には、部会制を考えており、例えば、拠点校の名称・校歌等を検討する総務調整部会、通学路等を検討する通学路安全部会、PTAの組織運営に関するPTA運営部会、そして教育課程などに関する部会の設置を考えている。</p> <p>Q 資料の中に「自転車通学を認めたり」とあるが、加悦奥の小学生も何名か自転車通学されているが、何kmくらいか。</p> <p>A だいたい2kmくらいからが自転車通学になっている。</p> <p>◆ 与謝校区だと通学路によっては自転車でも危ないところもあるので、このあたりの検討もされるのかなと思質問した。</p> <p>A 自転車は加悦奥の児童が乗っているので、全体を考えていく必要がある。新1年生も自転車通学しているので、自転車通学そのものが安全かどうかを第一に考えていく。</p>

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 Q A 質疑
与謝小学校区 2回目	H30.3.14	一般参加者	25	<p>Q スクールバスは距離じゃなくて状況等で決めると聞いたが、家の前を中学生が自転車を押して歩くくらい上り坂が続いている。小学生が歩くにしても自転車にしても、帰ってから宿題や時間割等の準備をするので、疲れ果てて帰ってくるのでは困るので配慮していただきたい。</p> <p>A 体力的な部分や精神的な部分も考えて、国の方でも配慮するようにとあるので、基準を設けながら検討していきたい。</p> <hr/> <p>Q マイクロバスをどう出す、距離はどこを境にどうするかが気になる。上手な対応で、「うまく柔軟に迷惑がかからないように検討したい」と言葉だけで済んでしまうのではないか。 「色々な地域の区長と相談しながら」とあるが、準備協議会の構成員はPTAや役員が2、3名、地域の代表と少ない人数で構成される。どういう形でまとめ上げられるのか聞きたい。やり方を発表できるなら考えを聞きたい。</p> <p>A 前段階として教育委員会が素案を作り、それに対して意見を出していただくような進め方で、調整する方法を考えている。</p> <p>◆ 協議会構成員については、将来関係が一番近い今のPTAや将来PTAになられる若い人の考えを取り入れるべき。今回と前回会議でニーズをつかんだということではなく、そういったところへ意見を聞いていただいて、PTAが納得の形で決めていただくのが良い。</p> <hr/> <p>Q 学校の跡地利用について、若い人が働けるような企業を主にしてはどうか。子どもが減ったのは核家族化で、昔は祖父母と一緒に住んでいる家庭で子守ができた。警報が出ると仕事を休まなくてはならない。前回会議で校舎跡の活用を農業の水耕栽培にとの意見が出たが、水耕栽培はハウスでやるのが良いと思う。校舎の中での栽培は鉄骨等が錆びるのでと思う。耐震化で校舎の補強も出来ているし、安かったら入ろうという企業もあるかもしれない。それにより、働き場所が出来れば子どもも増えると思う。学校の跡地は企業を。建物が既にあるのでやりやすいのではないか。</p> <p>A グラウンドがあり、校舎があり、体育館があり、保育園の敷地も含め全部同じ目的で使うのか、グラウンドだけ用地として使うのか、企業誘致を進めていくのかを地域の方と一緒に考えなければ、決めることはできない。京丹後市、宮津市も、廃校になって数年してから、その活用について協議されたりしている。与謝野町は地域の皆さんと活用について相談しながら進めていけたらと考えている。企業誘致については、近年では与謝野町でも数社進出が決まっている。用地的な条件が合わず他の市町村へ行かれることもあったが、他にもオファーがあるので、タイミングをとらえて紹介していきたい。 ただ、分譲地活用となると、土砂災害の警戒区域が設定されているので、イエローゾーンとなっている場合民家は擁壁を作ってからでないかと建てられない現状がある。プールは防火水槽を兼ねている。それぞれを細かく相談しながら条件をクリアする必要がある。</p> <hr/> <p>Q この地域の振興策は。 唯一の公共施設の与謝保育園と小学校がなくなるのは、一層さびれていく地域になるのではと思う。過疎化になって年寄りが増え若者が減り、山林・田地田畑も荒れていく。 世界的規模で災害が起きているので、今後想定外のことが起きれば、この地域は豪雨が来ると加悦谷盆地は水につかってしまうのではと心配。災害の面からも土地を守る必要性ある。将来の地域のことも考えて、学校のことも統廃合のことも、皆の知恵を絞ってどういう地域にするか展望を考えていかなければ、次の世代に無責任と感じる。心配が吹っ切れるような返事がいただきたい。</p> <p>A 地域振興策については起死回生の案は持っていない。前回の会議でも話したが、旧加悦地域、特に与謝は農業がメインになる。農業をしたいと移住してきた人もいるので、農業は大事にしたい。農業法人、振興会もあり、農地・山林を守っていくことは外せないが、町だけでは無理なので、地域・京都府も入っていただき、どういったことが展望できるか話し合いが必要。岩屋は市場小学校に編入されることになったが、岩屋は以前から危機感を持って地域をどう活性化させるか検討され、京都府も巻き込み、地域をどうやって盛り上げていくか1年かけて考えてこられた。その結果、今では雲岩ライトアップ等の活動をされている。区個々では難しいかもしれないので、与謝小学校区全体で検討いただければ、町として府にも協力を仰ぎ協力していきたい。</p>

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 Q A 質疑
与謝小学校区 2回目	H30.3.14	一般参加者	25	<p>Q ・町の方向性として「統廃合ありき」「何としても統廃合をやりたい」姿勢としかとれない。学校がなくなれば地域は疲弊するし大変になる。「子どもたちのためにやむを得ない」「子ども優先」というスタンスではなく、「統廃合をやりたい」としか見えない。「過疎化は進むが知恵を出し合って町も出来る限りやりますよ」と言ってほしかった。今の話はスケジュール、統廃合ありき、子どもがどうしたら幸せな生活が送れるかが大切。スクールバスの問題についても、「他市はもっと遠い距離なので我慢しなさい」ととれた。何人かの保護者に意見を聞いたところ、「スクールバスを出すのは大前提」と言われた。スクールバスが大前提での統廃合の合意である。金の問題ではなく現実的に考えてほしい。京丹後市には保育所にもバスが出ており77台もある。</p> <p>・この同意をどの時点でどうなったら地域の合意を得たとなるのか。統廃合は地域全体の問題。地域の意見を聞いていただいて、同意へ十分詰めた理論をやってほしい。統廃合を急ぎ過ぎて、地域のことを考えているとは思えない。「町がここまでするので統廃合させてほしい」という姿が見えない。</p> <p>A ご意見については、尤もで否定はできない。一定のスケジュールは持っているが、「何が何でも統廃合」ということではない。どこを持って合意とするかは丁寧にとっている。4月に入ってから、改めて区長会にも相談かけしなければならない。協議会については、分野で分科会を作って議論していただく。</p> <p>A スクールバスと距離について、基準を設けるに当たって地域の実情があるので、ある程度こちらで案をだして、意見をいただいて調整をしていきたい。保護者の理解を得ていきたい。いずれにしても安心安全面を配慮していきたい。</p> <p>A 資料にも記載しているように、新学習指導要領の実施に伴い、これからの教育は「覚える教育」から「考える教育（アクティブラーニング）」になり、クラス替えができる規模のある程度の集団が必要になってくる。集団の中で伝える力を身に付け、切磋琢磨が必要。</p> <p>小規模校には小規模校の良いところもたくさんあるが、施設面、教材の関係も、より一層充実していかなくてはならない。子どもにとってどういう教育環境を作っていくか、京丹後市との比較もあるが、地域の事情もあるので、地域性も考慮しながら検討を進めていきたい。保護者にもご理解、ご協力をいただく中で、安心安全面を重視していく考え。</p> <p>A 自分たちが子どもの頃は、こんな時代になるとは思わなかった。今後どのような社会になっていくのか想像がつかないが、その時代に子どもたちをどういう人間に育てられるか、どんな基礎を作るのが義務教育で、その教育環境を作るのが今の大人の責務。多くの友達と議論し、学ぶ過程で切磋琢磨しながら基礎を培い、小学生時代にたくさんのことを学んでほしいと考えている。小規模校が悪いのではない。小規模校には丁寧な教育が行き届く良さがあるが、人間関係が崩れるとしんどいという面がある。いずれにしても、子どもにとって、より良い教育環境、条件を検討して進めていくことが一番良いと思う。与謝小学校の課題、加悦小・桑飼小学校の課題、それぞれを協議していくことが必要である。</p> <hr/> <p>Q 40歳を超えてくると子育てが大変。職場や社会的責任も出てきて、この年代になるとこの問題を自分事として考える時間がないのが現状。</p> <p>この統合については与謝小学校・桑飼小学校が加悦小学校に吸収されるのか、対等な合併なのか、また、岩屋小学校は市場小学校に吸収されたのかも併せて教えてほしい。</p> <p>小学生の徒歩通学は3kmが限界。子どもの数が少なくなるのでスクールバスにも効率的に乗れると思う。与謝小学校区は与謝野町の端に位置している。そもそもどかが町の中心かという議論もあるが、加悦小学校区でも端になる。町のバランス、中心地を考えたら、この地域はハンデがある。小学校がないと、この辺に住む人は少なくなるのではないかと思う。</p> <p>跡地活用は教育委員会だけで考えられることではないが、教委が首頭を取って他課との連携が必要。跡地活用がなければ他から人が来ることがない。田舎でも人を呼び込むためには、ITやAIの活用も考えられる。地域の人はどうしたいかが重要だが、地域も自分たちの問題という意識が必要だと思う。□</p> <p>A 岩屋については、岩屋地域の方から「市場へ行きたい」という声があったため、市場小学校への編入となった。今回の与謝小・桑飼小学校と加悦小学校との関係は対等な統合。そのため、何もかも一からのスタートとなるので、校歌も一から考えることになるが、スクールバスについては安全面、体力、精神面等考慮し、一定基準を示しながら協議会で検討していきたい。</p>

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑 ◆ 意見 Q A 質疑
与謝小学校区 2回目	H30. 3. 14	一般参加者	25	Q 他校区での説明会での意見等は広報されているか。 A 他の説明会でも、他で出た意見等を聞きたいとの意見ある。今後ホームページ等の見える形での広報を検討していく。

小学校再編計画（加悦地域）地域説明会における意見・質疑内容

校区	月日	対象	参加人数	意見・質疑
桑飼小学校区	H30.2.7	一般参加者	20	<p style="text-align: right;">◆ 意見 Q A 質疑</p> <p>◎ 小学校の統合について</p> <p>Q 桑飼小学校の跡地に認定こども園と与謝の園（特養）を建設されるとの説明だったが、具体的内容は。</p> <p>A 小学校統廃合で桑飼小学校が閉校した後、校舎・グラウンド跡地の同じ敷地内に別々の建物として認定こども園と与謝の園を建設予定。</p> <hr/> <p>Q 小学校の校舎は壊すのか。</p> <p>A 校舎は解体し、跡地に両施設を建てることになる。</p> <hr/> <p>Q 学校・グラウンドは地域住民全体のもので、グラウンドも地域住民の共有のものとして使用してきた。グラウンドもなくなるのか。</p> <p>A グラウンドが地域住民のコミュニティの場だということは十分認識しており、区長からも地域のスペースが取れるよう要望をいただいている。</p> <hr/> <p>Q 認定こども園は学校やPTAが行っていた除草作業や、建物周辺の草刈り等は無いのでは。維持管理ができなくなり近隣地域が荒廃するのではないかと不安がある。学校は地域との共存関係で成り立っている。地域環境の整備も検討をお願いしたい。</p> <p>A まずは子どもの教育環境の充実を考えたいと思っている。地域そのものもどう維持するか非常に難しい状況。今の形態のままでなく、疲弊しないような地域づくりを考えていかなければならないことは与謝野町の大きな課題であるが、まずは子どもの教育の充実を優先的に進めたい。今後も意見をいただきたい。</p> <hr/> <p>Q 小学校正面駐車場の忠魂碑は地域のもの。今は地域住民がボランティアで管理をしているが、小学校がなくなるなら予算をつけて町で管理をしてもらいたい。</p> <p>A 忠魂碑は小学校敷地内に設置されているところが多い。学校統廃合後の忠魂碑をどう管理するかも各々設置後の準備会で検討いただくことになる。移設することはできないので現状のまま置いておくことになると思うが、町が管理するというにはならない。忠魂碑本体の修繕等で補助金を出した経過はあるが、地域で維持管理いただきたい。</p> <hr/> <p>Q 忠魂碑そのものより周辺の築山部分にある庭樹や卒業記念植樹の植栽も管理が必要。</p> <p>A 今後の協議とさせていただきます。</p> <hr/> <p>Q 町の提案にお礼が言いたい。これまでから区の要望として、小学校統廃合で閉校となった際に、こども園等の子どもの施設の設置をお願いしてきた。子どもの施設が設置されると、区民の増加、区の繁栄が期待できる。子どもの施設の設置は大変ありがたい。問題は敷地までの進入路が狭いこと。現状の道路ではなく別のアクセス道路が必要と考える。道路の新設検討の際は地元区長を交え相談をお願いしたい。</p> <p>A 進入路の現状については承知している。今の計画では跡地利用が180人規模の計画となっており、今の桑飼小学校の3倍になる。朝夕のラッシュ時や雪の際の交通も心配である。国道から直接グラウンドへというようなルートの検討も必要と考えている。工事に入る前には現地調査に入らせていただきたい。地域の利便性も考慮し検討させていただく。先の12月議会定例会で現地調査の予算を計上し可決いただいた。一連の説明会終了後には区長へ相談させていただく予定としている。</p> <hr/> <p>Q 現状の進入路は広いところでも3.5mで離合が困難な場所もある。ぜひ進入路の検討をお願いしたい。学校敷地については昭和29年の昭和大合併時にグラウンドが整備されたと記憶している。今後の施設整備については土地の高さを合わせた方が管理しやすいと思う。忠魂碑築山の管理もぜひお願いしたい。</p> <p>A 現在の学校周辺道路は狭く、今後工事となっても工事車両の通行も難しいと思っている。校舎跡地とグラウンドのレベル差については現在検討していないが、地質調査や古墳の調査も必要となることから、その後の検討となる。建物の配置を考える際には検討委員会に町民の方にも入っていただくこととなるので、その際にはご協力をお願いしたい。</p>